

# LION



11月26日(土) 東日本大震災被災地青少年に対する支援として大船渡小学校へ大型プリンターを贈呈

国際協会モットー

**“We Serve”**

国際テーマ

“I Believe～信じる”

334複合地区スローガン

“奉仕の心をひとつにつなぎ 日本再生”

334-C地区スローガン

“広げよう奉仕の心 静岡から世界へ！  
一汗を流そう、人と地域と地球の為に”

クラブスローガン

“創意工夫で 思いやりの奉仕”



**We Serve**

**沼津ライオンズクラブ**

2012

1



# 年頭にあたって

会長 L. 前田利定



新年あけましておめでとうございます。

沼津ライオンズクラブの皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年は国内外とも不透明、不安定な 2011 年でございました。特に 3 月 11 日の未曾有の東日本大震災では大津波、福島原発事故、風評による被害を招くなど、日常生活に大きな影響をもたらしました。沼津ライオンズクラブでは、青少年健全育成の一環として、11 月 26 日に大船渡小学校へ大型プリンターを寄贈させて頂き、大船渡市並び大船渡教育委員会から御礼の言葉も頂きました。

一日も早い復旧・復興を願っています。

又、前期におきましては、各ライオンズクラブが全国的に会員の減少傾向にある中、沼津ライオンズクラブにおきましては、新会員 8 名の若き新しいメンバーに入会して頂きました。後期も数名のメンバー入会の見込みがあり、今後、クラブの活性化に貢献してくれるものと期待しています。

本年度後半も役員一同、「創意工夫で 思いやりの奉仕」をスローガンのもと努めさせて頂きますので、メンバー皆様方のご支援・ご理解をお願い申し上げまして、新春の挨拶とさせていただきます。

## 10月 第1例会

## 統一アクティビティ例会(移動例会)

10月は統一アクティビティ月間にあたり、わが沼津ライオンズクラブでは環境保全委員会の担当により10月8日(土)、移動例会として神奈川県「かわさきエコ暮らし未来館(川崎浮島太陽光発電所)」の見学を実施しました。同所は、この8月に運転を開始した大規模太陽光発電所のメガソーラー展望スペースを兼ねた施設であり、昨今の環境意識の高まりや、東日本大震災以降の節電の重要性が叫ばれる中で、自然エネルギーの代表格である太陽光発電等について学ぶタイムリーな企画であり、参加した会員は高い関心をもって熱心に見学しておりました。その後、横浜中華街へ移動しての夕食会も大いに盛り上がり、和気あいあいのうちに帰沼しました。



▲展示されたパネルに熱心に見入るメンバー



▲壮大なソーラーパネル群



◀重慶茶楼での夕食



# 10月 第2例会

## セミナー報告例会

10月20日(木)ブケ東海において行われた10月第2例会では、セミナーに出席した各委員長より報告がありました。また大量8名の新会員の入会式も執り行われ、前田会長より新会員の今後の活躍を期待して「1に家庭, 2に仕事, 3・4・5にライオンズ」という歓迎の挨拶がありました。最後に10月27日(木)より沖縄で開催される日本アイバンク推進協議会総会での講演成功を祈念してL.勸山と同行する幹事・L.小林(龍)・L.木村(幸)の4名によるローアで例会を締めくくりました。



▲セミナー報告する各委員長

- ①PR情報 L.柏木 ②GM・GLT(MERL) L.竹村 ③視力福祉 L.小林(龍)  
④環境保全 L.塩崎 ⑤青少年指導 L.土屋(英) ⑥LCIF L.芦澤(明) ⑦YCEプログラム L.清水



▲前田会長による新会員歓迎の挨拶

### 新 会 員

うすい 白井	よしみ 吉見様 (スポンサー L. 前田利定)	しおかわ 塩川	ひろやす 浩康様 (スポンサー L. 前田利定)
さいとう 齊藤	けんいち 研一様 (スポンサー L. 前田利定)	つちや 土屋	ただひろ 恭博様 (スポンサー L. 小林龍司)
とくだ 徳田	かずひと 和人様 (スポンサー L. 小林龍司)	かわぐち 川口	ひろし 博様 (スポンサー L. 柏木雅博)
おの 小野	ひろひと 弘人様 (スポンサー L. 後藤行宏)	さかきばら 榊原	あきら 晃様 (スポンサー L. 小池禮二)



▲入会式の冒頭 ポーカル・エルのライオンズ・ヒムの斉唱で新会員を歓迎



▲それぞれのスポンサーより新会員へのラベルピンの授与



◀L.勸山を囲んで力強いローア



▲今回の例会食は中華でした

# 緊急千本浜清掃

**10月2日(日)**

非常に強い台風15号が列島を縦断し各地に悲惨な爪痕を残しました。千本浜でも海から打ち上げられたゴミが散乱し、大変な状況となったため、10月16日(日)の千本浜ファミリーマラソン前の毎年恒例の千本浜清掃に先立って緊急千本浜清掃を実施しました。当日は24名のメンバーが参加し、「思いやりの奉仕」の精神をもって清掃作業に汗を流しました。

**お疲れさまでした!**

●10月16日(日)実施予定の千本浜清掃と献眼登録受付は雨天のため中止となりました。

## 献眼者厚生労働大臣感謝状伝達式

**10月15日(土)**  
千本浜公園  
献眼慰霊碑前

▲栗原沼津市長による感謝状伝達

献花するL.勸山▶



◀前田会長挨拶

沼津ライオンズクラブからは三役・L.小林(龍)視力福祉委員長・L.木村(幸)同副委員長・L.柏木PR情報委員長が出席しました。また、当日1名の献眼登録をいただきました。

**愛の 献眼提供****敬 謝 儀****12月2日 故 服部純茲様より**  
(元ライオン)

上記の皆様より尊い献眼を  
いただきました。

感謝状を伝達させていただきました。

## 第34回 選抜少年野球沼津交流大会閉会式

**10月23日(日)**  
沼津市営球場

10月16日(日)に予定されていた準決勝・決勝の3試合が雨天順延となったため、10月23日(日)沼津市営球場にて行われました。決勝戦は大岡少年野球団が9対6で焼津コンドル少年野球団を下して優勝。決勝戦終了後に表彰式(閉会式)が開催され前田会長による講評と優勝チームにライオンズカップの贈呈、入賞チームへのメダル授与が行われました。





# 11月 第1例会

## ZC例会訪問

11月2日(水)沼津リバーサイドホテルにおいて開かれた11月第1例会を3R1Z・ZC L.坂東功一(沼津香陵ライオンズクラブ)が例会訪問。また、メンバースピーチでは、334-C地区名誉顧問・元地区ガバナー(第32代沼津LC会長)L.土屋誠司が「334-C地区 ライオンズクラブについて」と題して、さまざまな資料を駆使しながらわかりやすく講演いただきました。



▲挨拶する3R1Z・ZC L.坂東



▲L.土屋(誠)によるメンバースピーチ



▲ZC L.坂東とL.土屋(誠)によるローア



リバーサイドホテルにかわっての  
初の例会食

# 静岡県アイバンク設立30周年記念式典

公益財団法人静岡県アイバンクの設立30周年記念式典および祝賀会が沼津リバーサイドホテルにて催され、沼津ライオンズクラブからも多数のメンバーが出席して式典・祝賀会の進行・運営に協力しました。

11月6日(日)  
沼津リバーサイドホテル  
11:00～14:30



▲式典会場



▲挨拶する県アイバンク  
堀田喜裕理事長



▲県アイバンク理事長より感謝状を  
受けるL.勸山



▲来賓席のL.土屋(誠)



▲盛大に催された祝賀会



▲会長、L.足立と受付担当のL.井上、L.小原



▲交通誘導担当で打合せをする  
L.池田、L.橋本、L.小林(龍)



▲雨の中ご苦勞  
さま



# 11月 第2例会

## LCIF委員会担当例会(はめ字例会)

11月17日(木)ブケ東海沼津での11月第2例会はLCIF委員会の担当。三島はめ字文の会 家元・ナイスショツ島(L.服部行真)様を講師として「“はめ字”でちょっと頭の体操を!!」という、何ともユニークで楽しい例会となりました。家元の作品講評にもあったように、きっかりな体のことや、奥さんか彼女のこと、そして沼津をとりまく環境のことに関する作品が多かったようですが、どの作品もシャレ、粋、ユーモアに富み、語呂が良く送りがなが、しっかり嵌っているものが多く、なかなかの水準だったようです。最優秀賞としてL.井上、L.竹村、L.田中(章)、L.土屋(英)、L.前田会長の5作品が選ばれました。

また、例会において直前会長L.芹澤(洸)にアワードパッチが、L.芹澤(明)(5名のスポンサー)とL.芹澤(洸)(2名のスポンサー)に会員キー賞が贈呈されました。



▲芹澤(洸)直前会長へアワードパッチ贈呈



▲会員キー賞を受けたおふたりによるローア



▲今回の例会食は洋食でした

### 最優秀賞の5作品

揉	あ	き	便	愛
む	せ	が	り	し
だ	り	か	が	き
さ	気	り	な	ひ
男	を	だ	く	と

L. 井上孝喜



▲はめ字文の会 家元・ナイスショツ島とは私のことです



▲最優秀賞受賞者によるローア

“はめ字”でちょっと頭の体操を!!

う	ま	き	慣	楽
心	わ	が	れ	し
だ	り	か	が	き
目	気	り	怖	例
だ	遣	だ	い	会

L. 竹村喜次

い	み	き	つ	う
や	下	が	ま	わ
だ	り	か	が	き
も	半	り	目	ば
の	は	だ	線	れ

L. 田中章生

か	ふ	き	ゆ	天
ら	と	が	る	高
だ	り	か	が	き
重	過	り	如	馬
い	ぎ	だ	く	肥

L. 土屋英治

そ	や	き	く	奥
う	は	が	上	行
だ	り	か	が	き
ん	育	り	っ	が
だ	毛	だ	て	広

L. 前田利定



# 12月 第1例会

## PR情報委員会担当例会

12月第1例会は12月1日(木)PR情報委員会の担当でブケ東海沼津において行われました。講師に沼津警察署刑事第2課長 杉山和紀様をお招きして8月1日より施行された静岡県暴力団排除条例についてご講演いただきました。実例を交えたお話しにより安全で平穏な市民生活を守るためにも社会全体で暴力団を排除することの重要性を痛感させられました。



▲講師の沼津署 杉山刑事第2課長



▲担当委員長のL. 柏木とL. 土屋(英)によるローア



今回の例会食は和食でした▶

### 会員懇親ボーリング大会

沼津市学童野球の15名 **11月27日(日)**の小学生を招待して行な **香貫ボウル** われました。ハイスコアは何とL. 稲野。球のキレ、球威ともに抜群でした。



# 12月 第2例会

## クリスマス家族例会

12月17日(土)ブケ東海沼津において12月第2例会(クリスマス家族例会)が行なわれました。ボーカルエルの合唱やバルーンパフォーマンス、ステージマジック、お楽しみ抽選会など盛りだくさんの内容で、ホットで楽しいクリスマス例会となりました。また、銀婚式を迎えられたL. 細沼信二ご夫妻に記念品が贈られました。



▲乾杯の発声はL. 渡邊章



▲銀婚式を迎えても、まだまだお熱い 細沼夫妻



▲クリスマスの雰囲気盛り上げる ボーカル・エルの合唱



▲今年もライオン サンタが大活躍



◀ステージマジックで 大盛り上がり



▲バルーンの首飾りが お似合いですL. 市川



# 結べ！ 善意の絆

## 「大船渡小学校へのプリンター寄贈事業」

青少年指導委員会 L. 土屋英治

11月26日(土)前田会長と小原会計、そして青少年指導委員会の土屋の3名で大船渡小学校に大型プリンター寄贈事業の贈呈式に行き参りました。行程は三島駅を朝6時45分に出発し、東京駅で東北新幹線に乗り換えて一ノ関駅で下車し、ここからは陸路をレンタカーで大船渡を目指しました。一ノ関から海岸線に向い、気仙沼までは約1時間、気仙沼港近くに着きました。気仙沼港が見えるエリアに着いても地震の爪痕は殆ど感じられなかったのですが、港の周辺に着くと様相は一変し、ありとあらゆる建物が津波の被害を受け、海拔が数メートル違いだけで被害の割合は大きいと感じました。震災から8ヶ月経過した気仙沼は木造の建物は基礎を残し、瓦礫も撤去されていましたが、骨組みだけ残った飲食店が営業再開し始め、水産加工業者が数日前から操業できるようになったとの話を聞きました。

気仙沼で昼食を取った後、海岸線を北上して陸前高田に向いました。決して気仙沼の被害が少ないとは思わなかったのですが、「奇跡の一本松」で知られる陸前高田は別世界でした。この地域にしては平野が広がっている地形なので内陸数キロまで津波が襲い、町の全ての建物が失われた状態でした。津波の恐ろしさを感じる光景です。陸前高田を通過し、今回の目的地大船渡に向う車中から見える小さな部落はその地形が西伊豆と似ていることから東海大地震と重ね合わせずにはいられませんでした。

こうして大船渡に午後1時40分に到着し、最初に大船渡教育委員会を訪問、今野洋二教育長と伊藤公男課長補佐、江刺雄輝課長補佐と懇談しました。今野教育長は「沼津市と沼津商工会議所の方々には子供たちを招待して下さい、さらにこの度、沼津ライオンズクラブの皆様からは学校教育用のプリンターの寄贈を受け、沼津の皆様には大変感謝しています。我々が受けたご恩をお返しできるのは我々が経験した体験談を語り伝えることだ。」と語り、機会があれば沼津の方々に震災への備えや災害時の対応等をお話したいとのことでした。

約一時間に亘る懇談を終え、午後2時に大船渡小学校を訪問いたしました。大船渡小学校では柏崎正明校長と佐藤孝哉PTA連合会副会長にお出迎えを頂き、校舎入り口には寄贈プリンターを使って作成した歓迎の看板が作成してありました。早速、贈呈式を執り行い、寄贈プリンターの前で記念写真を撮ってきました。柏崎校長からは「校舎1階が津波で失われた本校の学校教育機材を御寄付頂き誠にありがとうございます。皆様の御好意に感謝し、教育現場で活用させていただきます。」とお礼のお言葉を頂きました。その後、柏崎校長から震災時の様子や30分後にやってきた津波から間一髪で免れた児童生徒の避難状況などをお話頂きました。柏崎校長からは

災害時、初動行動の大切さを語っていただきました。津波等の情報が得られない中、校舎で津波を確認した教師が校庭に集合していた児童生徒に至急裏山に避難するように指示したことが犠牲者を一人も出さなかった大きな要因だとおっしゃっていました。津波が到達するまで約30分の時間が掛かっており、海岸に住む人々でも十分に逃げる時間はあったはずですが、遠くに逃げようと車を使い、渋滞している道路を使って逃げた方や、ここまで来ないだろうと高をくくっていた人が津波に飲み込まれ、反対に海岸線に住む方ですぐさま徒歩で避難した方は助かるといった初動行動の判断で生死を分けることになったとお聞きました。津波被害に遭われた校舎一階は現在も使用不能が続いており、ボランティアによる清掃がなされていたものの身長を越える津波到達痕が津波の恐ろしさを物語っておりました。

大船渡小学校での懇談を済ませるとあたりは夕暮れを向え、校舎周辺の住宅地はむなしく基礎だけが残り、湾曲し途中で途切れている線路は自然災害の脅威を感じました。東日本大震災から8ヶ月、被災者が普通の生活を取り戻すにはまだまだ時間が掛かり、この先、私共が何ができるかを考えながら陸路を1時間半、東北新幹線水沢江刺駅に向いました。午後7時14分に水沢江刺駅を乗車し、三島には夜11時3分に到着という厳しい行程ではありましたが東海地震が予想される地域に住む我々にとっても貴重な訪問となりました。

【寄贈先】 大船渡市立大船渡小学校

(岩手県大船渡市大船渡町字笹崎67-1)

【寄贈品】 EPSON MAXART PX-F8BUN

(専用ソフト込み) 1台



大船渡市 人口39,589人

2011.11.26 (土)

東日本大震災被災地を  
前田会長らが訪問。  
大船渡小学校に  
教育用大型プリンターを寄贈。

2011年12月1日(木曜日)

静岡新聞 (朝刊)



▲大船渡教育委員会を訪問 右から課長補佐 江刺雄輝様、課長補佐 伊藤公男様、中央は教育長の今野洋二様



▲大船渡小学校正面玄関にて  
大船渡小に入る前田会長と▶  
寄贈プリンターで作成された  
歓迎看板



▲大船渡小学校校長 柏崎正明様(左)  
PTA連合会副会長 佐藤孝哉様(右)  
と懇談

◀大船渡小学校での贈呈式



▲大船渡小校舎の壁面に残る津波痕



▲大船渡小学校と途切れた線路



▲大船渡小学校2階から見渡した周囲の様子



▲気仙沼市内の惨状



津波にすべてを押し流された陸前高田市内▶



▲陸前高田「奇跡の一本松」

